

2024 展覧会&イベントスケジュール

3月16日(土)～4月16日(火)

「軽井沢の文豪たちに逢いにゆく」

明治期から今日に至るまでの軽井沢ゆかりの文学者約50人の、軽井沢を舞台に描いた詩・小説・随筆・戯曲・俳句・短歌等を、明治末期から昭和前期までを中心に、著作、原稿、初出紙誌、絵画等の収蔵資料約200点で紹介し、豊饒な軽井沢文学を一望できます。

4/17,18,19 休館

4月20日(土)～7月8日(月)

「軽井沢文学散歩～『新編 軽井沢文学散歩』刊行記念～」

昨年8月、『軽井沢文学散歩』初版刊行から55年ぶりに『新編 軽井沢文学散歩』(軽井沢町教育委員会)がリニューアルされました。今回、本書の刊行を記念して、明治・大正期から平成期に至るまでの軽井沢ゆかりの豊饒な文学作品の流れを多彩な資料で辿ります。

7/9,10,11,12 休館

7月13日(土)～10月14日(月)

夏季特別展「生誕110年 立原道造展～夭折の生涯を辿って～」

85年前に24歳8カ月で夭折した立原道造の遺した詩・建築・造形は、今も尚、多くの人々に愛され、注目されています。近年、多くの立原道造資料が立原道造記念会より軽井沢高原文庫に寄贈されました。また、評論家立花隆氏旧蔵の立原関連書籍がご遺族より当館に寄贈されました。この機会に、詩人・建築家立原道造の生誕110年展を開催します。

10/15,16,17 休館

10月18日(金)～11月30日(土)

「軽井沢の文豪たちに逢いにゆく<続>」

明治期から今日に至るまでの軽井沢ゆかりの文学者約60人の、軽井沢を舞台に描いた詩・小説・随筆・戯曲・俳句・短歌等を、昭和後期から平成期までを中心に、著作、原稿、初出紙誌、絵画等の収蔵資料約200点で紹介し、豊饒な軽井沢文学を一望できます。

12/1- 休館

<イベント>

- 高原文庫の会 8月3日(土)14時～「立原道造の詩を歌う」
歌とお話：平松剛一&平松混声合唱団 会場：高原文庫中庭
 - 高原の文学サロン 8月25日(日)14時～「立原道造の建築」講師：青木淳 会場：高原文庫中庭
 - 緑陰サロン 8月31日(土)14時～「『筑摩書房版全集』出版等の立原顕彰に携わって」
お話：宮本則子(立原道造記念会会長) 会場：明治四十四年館
 - 文学散歩 ①新緑の信濃追分を歩く 5/19(日)13時、②立原道造ゆかりの信濃追分を歩く 9/21(土)13時～
③晩秋の旧軽井沢を歩く 10/26(土)13時
 - 辻邦生山荘見学会 ①6/1(土)13時、②9/7(土)13時、③10/5(土)13時 ※予約開始日あり
 - 軽井沢再発見講座 7月27日(土)13時「室生犀星と軽井沢」(大藤敏行)
- ※展覧会およびイベントのスケジュールは、変更または中止される場合があります。お出かけ前にホームページまたはお電話でお確かめください。